

資料4

■これまでのSWC施策をSDGs的に整理して、SDGs未来都市計画を構築
→見附市のSDGsは、これまでの健幸まちづくりの延長線上にある取り組み



	KPI	R3	現在（R4）	R5	目標(R7)	達成状況
1	コミュニティバス利用者数	165,843人	170,454人		217,000人	↗上昇
2	創業・起業の件数（累計）	6件	12件		30件	↗上昇
3	中心市街地での出店数（累計）	14件	20件		16件	↗上昇
4	介護認定率の伸び率の抑制	17.3%	17.7%		18.8%以下	□維持
5	主要企業の地元就労率	43.2%	40.3%		50.0%	↘下降
6	見附市外から転入した人数（10～9月）	926人	838人	923人	1,000人（年）	↘下降
7	20代30代の社会動態（10～9月）	△54人	△131人	△58人	△30人	↘下降

令和4年度の取り組み

①第2期SDGs未来都市計画（2022～2024）を策定

- ・第1期計画をフォローアップしていくことを主目的として、3年間の第2期計画を策定。
- ・「歩いて暮らせるまちづくり」というメインテーマは変更しないものの、「仕事と子育てが両立できる環境整備」や「魅力的な運動機会の提供」といった分野の事業進捗を確認するためのサブKPIを追加・修正。

②公共交通の利便性向上

- ・コミバス運行ルートへの課題分析から、人口密度が高い割に公共交通空白地域であった葛巻地区を運行するルートへの変更を検討。

⇒R4年度の春からバスルートを変更。

- ・利用動態分析から午後8時以降になると利用者数が減少する傾向があることから、深夜便を取り止め、日中帯の便を増やすことを検討。

⇒深夜便を取り止め日中帯の便に振り替え。1日の運行本数69便を継続。



コミバス葛巻運行ルート

③健康づくりの推進

- ・日々の歩行や運動など実施することでポイントが貯まり、そのポイントが地域商品券や寄附として交換できる健幸ポイント事業への協力、参加をSDGsパートナー団体へ呼びかけ。従業員からの口コミによる周知を行った効果もありR4年度は1,917人の方が参加。



SDGs啓発活動（地元高校生によるバスラッピング）



健幸ポイントとは？
見附市の皆さんの健康づくりを応援し、地域を活性化することを目的とした事業です。日々の歩行や運動に励みポイントが貯まり、そのポイントが地域商品券や寄附として交換できます。

参加対象者 30歳以上の見附市市民（9年連続30歳未満は対象外）
事業開始日 令和4年4月1日より
新規募集人数 300名
参加費 活動費計4,950円（参加費に該当する場合は無料です）
参加条件 参加規約への同意ができる人、アンケート調査に協力できる人、定期的に歩数計のデータ提出ができる人

貯めた健幸ポイントは？
2つの交換コースから選択できます

R4健幸ポイント事業チラシ

令和5年度の取り組み

①市内中学生以下コミュニティバス無料化

- ・子どもたちの活動範囲を広げ、地域の魅力発見や愛着心を育むことにもつながることを期待し、市内在住の中学生以下のコミュニティバス料金の無料化を7月から実施。

②公共交通の利便性向上

- ・コミュニティバスのロケーションシステムを10月から更新。
- ・スマホのGPS情報を参考に現在地からの最寄りバス停を検索可能。
- ・バスの運行状況、乗車状況の確認も見やすくなり利便性が向上。

③SDGsの啓発活動

- ・教育機関との連携

⇒市内外の中学校、高等学校、大学で「SDGs」をテーマにし、当市のまちづくりを講演。

④『プレイラボみつけ』

- ・新たな交流拠点として子どもの居場所を7月に整備。
- ・主に小学生（高学年）を対象に放課後や休日に自由に過ごせる遊びと学びの場。

見附市内の
中学生以下の子ども

タ
無
ず〜っと
料
0円

R5.7/1日START

無料券は
これだよ!!

見附市では「子育てしやすい環境づくり」の一環として、市内中学生以下のコミュニティバス乗車を無料化します。市内には、いろいろな施設や場所がたくさんあります。コミュニティバスに乗ってぜひ楽しんでください。※経路外の路線バスは対象外です。無料券は限りなくありません。

見附市南域公共交通活性化協議会(事務局:見附市都市環境課内 TEL:0258-62-1700)

コミュニティバス無料化チラシ



プレイラボみつけ



バスロケーションシステム

